

**令和2年度（通期）
指定管理施設管理運営状況報告書**

施設担当課： 市民自治 部 まちづくり 室 まちづくり推進 課

1. 基本情報

201

施設名	伊丹市立市民まちづくりプラザ		
施設の設置目的	市民の参画と協働によるまちづくり活動の推進を図る。		
伊丹市総合計画（第5次）における関連施策	基本目標：市民が主体となったまちづくりの実現 基本方針：参画と協働による市民自治		
指定管理者の名称	特定非営利活動法人 シンフォニー (団体の住所又は所在地) 尼崎市御園町5番地尼崎土井ビル2階A号室		
選定方法（公募・非公募）及び指定期間	公募	令和 2年 4月 1日 ~ 令和 7年 3月 31日	
管理運営上の目標 (管理運営の指定管理者の具体的目標)	指標名	講座参加者数 (単位： 人)	
	指標の意味	講座に参加した市民の人数	
	今年度の目標値	280	今年度の実績値 585

2. 利用状況

利用状況等の推移		H17※	H28	H29	H30	R元	R2 (上期)	R2 (通期)
	講座開催回数 (回)		18	38	39	38	8	26
講座参加者数 (人)		590	685	275	279	36	294	585

※H17年度は、指定管理者制度未導入。

3. 経費情報

		平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020) 実績 (通期)	3ヵ年平均	
収入	使用料収入	0	0	0	0	
	事業収入	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	指定管理委託料	7,733	1,874	7,490	5,699	
	①合計	7,733	1,874	7,490	5,699	
支出	維持管理	光熱水費	771	163	0	311
		清掃等委託料	52	13	0	22
		土地建物賃料	0	0	0	0
		修繕料	0	30	68	33
	運営	人件費	5,358	1,396	7,500	4,751
		事業等経費	1,627	377	1,070	1,025
		その他	0	0	0	0
		指定管理納付金	0	0	0	0
②合計	7,808	1,979	8,638	6,142		
純収支 (①-②)		△ 75	△ 105	△ 1,148	△ 443	

		H27	H28	H29	H30	R元	R2
施設の管理運営に係る実質経費 (市の負担) ※ <単位:千円>	市の収入	0	0	0	0	0	0
	(内、使用料収入)	0	0	0	0	0	0
	市の支出	14,047	14,062	7,752	7,733	1,874	7,490
	(内、指定管理委託料)	7,895	7,867	7,653	7,733	1,874	7,490
実質経費 (歳出-歳入)		14,047	14,062	7,752	7,733	1,874	7,490

※施設建設等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

4. 業務評価

評価項目	(具体的内容)	評価結果				
		指定管理者自己評価		施設担当課評価		
		評価	特記事項	評価	担当課所見	
管理体制等に関する事項	維持管理業務の実施状況 館内の清掃を定期的実施し、常に清潔に保たれているか。 保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。 備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。 修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。 環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	B		B	館内は清潔に保たれており、新型コロナウイルス感染症対策についても、適切に実施されている。	
		B	通常清掃に加え、パーティション等の設置や1日4回の消毒対応など、新型コロナウイルス感染症対策を実施した。備品等についても、台帳の整備を含め、適切に管理した。	B		
		B		B		
		B		B		
		B		B		
職員配置などの実施体制	館長等、必要な職員の配置をおこなっているか。 職員研修は、計画どおり実施しているか。 防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持った職員を適正に配置しているか。	B	適切なサービス提供のため、定期的なミーティングの実施、また、連絡ノートの作成などにより情報を共有し、円滑な業務の実施に務めた。	B	必要なサービスを提供する為の体制を整備すると共に、職員間での情報共有も適宜行っている。	
		B		B		
		—		—		
防犯・防災対策への取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。 避難訓練を実施しているか。	B	緊急対応マニュアル設置。館内他施設と合同で行う避難訓練に参加した。	B	緊急時に必要とされる体制を整備している。	
		B		B		
運営等に関する項目	サービス向上への取組状況等 サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行っているか。 利用者の意見を施設運営に反映する仕組みを確立しているか。 苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。 特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。	B	登録団体の積極的な訪問活動や、取材活動を通して良好な関係構築に努めた。また、取材の内容をFacebookなどに掲載するなど、登録団体の活動支援を実施した。	B	利用者のニーズを踏まえ、より良いサービスの提供に向けた施設運営を行っている。	
		B		B		
		B		B		
		B		B		
	事業等の実施状況	指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。 施設の設置目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。	B	当初の目標を大きく上回る講座数を開催した。コロナ禍におけるニーズに対応し、zoomによるオンライン会議やLINEを活用した活動実施のための講座を積極的に開催した。	B	コロナ禍におけるニーズに対応し、講座実施回数、講座参加者数は共に目標値を大きく上回った。
			B		A	
	個人情報保護・情報公開への取り組み	各種申請書類等は、適切に保管しているか。 利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。 ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	B	ホームページ(新着情報の都度更新)やFacebook(毎日)、メルマガ(月1回以上)、広報紙、チラシの配架などで、情報発信している。特にFacebookでは登録団体を取材した内容も随時配信している。	B	利用者に対し、広報紙やホームページ、SNS等多様な形態で、必要な情報を積極的に発信している。
			B		B	
			B		B	
	収支の状況	収支計画に基づき、適正に運営しているか。 経理処理は、適切に行っているか。	B	計画に基づき、経費処理は適正に運営している。	B	適正に経費処理を行っている。
B				B		

「評価」欄の記号の意味

「A」=協定書・仕様書等の水準を上回っている。
「C」=協定書・仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。

「B」=協定書・仕様書等の水準を満たしている。
「—」=当該項目での評価対象外。

施設所管課総評	各種相談等を含め市民活動支援業務や、施設運営については一定水準を満たしている。また、市民活動に役立つ講座の実施については、コロナ禍におけるニーズに対応し、講座実施回数、講座参加者数ともに目標を大きく上回る結果となった。
総合評価	B

「総合評価」欄の記号の意味

「AA」=非常に良好である又は非常に成果があった。
「B」=取組状況の水準が普通である。

「A」=良好である又は成果があった。
「C」=改善すべき点が見受けられ、改善を要する。

☆利用者満足度調査(アンケート)結果と対応【実施期間】令和3年4月1日～令和3年3月31日

実施の有無	主な回答	主な対応
有り	a.職員の接遇態度はいかがですか。→ 「非常に良い」57%、「良い」41%、無回答2%	a.「非常に良い」の評価が上期と比較し通期は増加した。引き続き良好な評価が得られるようOJTを実施していく。
回答者数	b.今後プラザで提供して欲しい項目や充実して欲しい項目は何ですか(複数回答)。→ ①「各種セミナー」322件、②「各種イベント情報」106件、③「情報交換・交流の場」78件、④「助成金情報の提供」67件、⑤「活動紹介」65件など	b.引き続き、ホームページ、Facebook、メルマガなどを通じて積極的に周知を図る。また、登録団体の活動内容を取材し、周知を図ることで、関係を構築するとともに、より効果的な情報発信に努める。
425	c.(自由記述)まちプラを知らなかった。	c.引き続き、Facebook、広報紙などを活用した情報発信を積極的に行うと共に、公民館とイベントを共催することで、市民まちづくりプラザの認知度の向上に努める。

5. 改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対してとられた措置